

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論 (コミュニケーションを含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	平瀬芳美	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	(1) 点字について (実技を含む) (2) 接遇、医療面接について (実技を含む) *コミュニケーション (3) 上記以外の内容 (例: パソコンの基礎知識、文芸等) 3については、クラスの希望に基づいて実施します。	
到達目標	点字の数字の読み書きができる。 コミュニケーション・接遇の基礎的な知識を得る。 医療面接の導入部がスムーズにできるようになる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 14時間
	1 人文科学概論オリエンテーション	1
	2 点字実技 (1) メの字書き、数字、氏名 (2) 試験解答方式等 (3) 点字用郵便について	1 5 1
	3 接遇理論 *コミュニケーション (6時間) (1) マナーとルール、上座と下座 (2) 来客対応、ノック、名刺交換 (3) 湯茶接待、電話対応 (4) 身だしなみ (外部講師による特別授業を含む) (5) 一般的接遇から医療的接遇へ	1 1 1 2 1
4 期末試験		
	後期計 (16週)	後期計 16時間
1 医療面接 (1) 実践編 第1章、第2章 (墨:18~55頁、DAISY:12~36頁、点:15~80頁) (2) 実践編 第3章、第4章 (墨:56~69頁、D:37~44頁、点:81~102頁)	4 4	
2 接遇実技 *コミュニケーション (5時間) (1) シナリオ確認 (2) オリエンテーション (環境認知等) (3) 医療面接<導入部>ロールプレイ (4) 反省、フィードバック	1 3 1 1	
3 その他	2	
4 期末試験		
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	定着度の確認は、通常授業の中の質疑等で行います。前・後期とも期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行い、当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、再評価試験を行います。いかなる理由でも、15分を超える遅刻や早退は欠席となります。	
自己学習の進め方	予習よりも、復習を軸にした学習習慣の形成を期待します。	
使用教科書	鍼灸臨床における医療面接〔改訂版〕丹澤章八	
参考書/参考資料		

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	河原塚 由紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な福祉を中心とした社会科学諸分野の基礎的知識について学習し、現代社会の諸問題を総合的に把握します。	
到達目標	卒業後の就労時に役立つ知識を身に着けることを目標とします。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 14時間
	高齢化社会とは 少子化問題など 後期高齢者医療制度 その他 中間期チェック 中間期チェックの講評	1 1 3 1 1 1
	介護保険 制度の概要 介護保険 在宅サービスの種類 期末試験 (総括的評価) 期末試験の講評	3 2  1
	後期計 (16週)	後期計 16時間
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期ともに期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行い当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。なお、前期、後期ともに習熟度を確認するため中間期チェックを行う予定ですが、これは評価に含まれません。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の要点を復習します。授業は事前に配布した資料をもとに進め、既習内容については発問を交えて知識の確認をします。なお資料については大きな単位ごとにまとめたものを希望媒体で配布します。	
自己学習の進め方	配布するまとめ資料はあくまで抜粋ですので、講義にしっかり耳を傾けわからない用語などは授業中に質問するなどして確認して下さい。また普段からニュース等をチェックするなど学習内容にかかわる項目に興味をもつことでより理解が深まると思いますし、また卒業後に活用できる知識として身につくことと思います。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	配布資料	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	武田和男	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	科学史・医療の歴史を通して、自然と生命の奥深さを知り、自然理解を深め、理性の価値を認識し、豊かな自然観を養います。	
到達目標	東西の医学を学ぶ者として必要な、動植物の成長・発育の基礎知識、自然科学の基礎的な理念・概念・法側頭を理解し、説明することができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 14時間
	ガイダンス 生物と細胞 DVD驚異の小宇宙人体 (生命誕生) 細胞と生物 細胞とその社会 DVD驚異の小宇宙人体 (骨格筋肉) DVD驚異の小宇宙人体 (消化吸収) 永遠の生命 HeLa細胞 まとめの時間 前期期末試験	1 3 1 1 2 1 1 2 2
授業計画	前期計 (16週)	後期計 16時間
	笑いと免疫力 インフルエンザとウイルス ウイルスの謎を解いた人々 筋肉の動く仕組みを探る 石炭酸で傷口を洗う (消毒法) 華岡青洲 伝染病の原因を探せ 沈黙の春 脳はバカ腸は賢い まとめの時間 後期期末試験	1 2 2 2 1 1 2 2 1 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	学年末評価は、前期と後期の期末試験による評価点の平均点 (小数点以下は切り捨て) です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎時間の授業に集中し考えをまとめ、試験前に総合的に復習してください。	
使用教科書	配布資料や教室実験・ビデオ視聴	
参考書/参考資料	「仮説実験授業」「永遠の生命」「発明発見物語」「歌う生物学」その他	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	新 八吉	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な健康・安全や身体運動について学び、健康の保持増進のため運動を実践します。	
到達目標	身体運動を実践することにより施術に応用する能力と態度を習得することが目標です。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 14時間
	ストレッチ体操	3
	陸上競技	3
	球技	4
	フライングディスク	3
	講義	1
	後期計 (16週)	後期計 16時間
	陸上競技	2
	カローリング	3
	球技	3
	筋力トレーニング	2
	レクリエーション	2
	ストレッチ体操	3
	講義	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	観察記録法により評価します。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の復習をし、また授業では各種目の完成を目指します。毎回習得度を確認し、不十分であれば繰り返し練習することで理解を深めます。	
自己学習の進め方	授業でスムーズに身体を動かすことができるように、またケガの予防のため日頃より軽くトレーニングを行ってください。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学 I (運動学を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な人体諸器官の位置・形態・構造とその運動について学びます。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学における基礎的な用語や決まり事を理解し、説明できる。</li> <li>・骨格及び関節の名称、構造、機能を理解し、説明できる。</li> <li>・筋の名称、起始及び停止、支配神経を理解し、説明できる。</li> <li>・神経系の名称、位置、機能を理解し、説明できる。</li> <li>・上記の項目を踏まえ、基礎運動学を習得し、臨床的な視点から解剖学を理解できるようになる。</li> </ul>	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 0時間
	別紙	
	後期計 (16週)	後期計 0時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。 (小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎回の授業で示される要点を記憶し、提示される課題に取り組んで下さい。授業中における模型観察の時間が不十分だと感じた場合には、放課後等の基礎医学教室開放時間を活用して模型観察を行い、授業内容の理解と問題解決に努めましょう。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか	
参考書/参考資料		

(別紙) 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学 I (運動学を含む)	
前期の授業計画	前期計 (14週)	前期計 56時間
	1. 人体の構成 (区分と方向) 2. 運動器系 (骨、各関節) ①総論 (うち、運動学 2時間) *運動学 ②脊柱 ③胸郭 ④上肢 ⑤下肢 ⑥頭蓋 3. 運動器系 (筋) ①総論 ②体幹とその運動 (うち、運動学 5時間) *運動学 ③上肢とその運動 (うち、運動学 5時間) *運動学 復習、その他 (うち、運動学 1時間) *運動学 期末試験 期末試験 講評	2   3 8 4 6 6 8   2 6 8 2  1
後期の授業計画	後期計 (16週)	後期計 64時間
	3. 運動器系 (筋) ※前期続き ⑤下肢とその運動 (うち、運動学 5時間) *運動学 ⑥頭頸部とその運動 (うち、運動学 5時間) *運動学 4. 神経系 ①総論 ②中枢神経 ③伝導路 ④末梢神経 5. 基礎運動学 ①運動の基礎 (てこと滑車) *運動学 ②体の重心と姿勢 *運動学 復習、その他 (うち、運動学 3時間) *運動学 期末試験 期末試験 講評	10 10  2 10 8 8  2 2 10  2

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	解剖学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	村松 芳容	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では、人体諸器官の位置・形態・構造について学習し、これを施術に応用する能力と態度を修得することを目的とします。	
到達目標	人体諸器官の位置・形態・構造を理解し、模型及び人体で確認することができる。また、それら諸器官についての機能を説明又は記述することができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 42時間
	第1章 人体の構成 中間試験 中間試験講評 第4章 消化器系 第3章 呼吸器系 第5章 泌尿器系 期末試験 期末試験講評 復習・その他	10 1 1 12 8 6  1 3
	後期計 (16週)	後期計 48時間
	第6章 生殖器系 第7章 内分泌系 中間試験 中間試験講評 第2章 循環器系 第9章 感覚器系 期末試験 期末試験講評 復習・その他	8 6 1 1 18 8  1 5
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	学年末評価は、前期と後期の期末試験による評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎回の授業で示される要点を記憶し、配布される国家試験過去問題集を何度も解答して問題に慣れましょう。また、わからないところを自ら見つけ、質問できるように努めてください。模型観察は放課後にも行うことができますので、担当教官までお声かけください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野那雄ほか	
参考書/参考資料	東洋療法学校協会編 解剖学	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	渡邊麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術に必要な人体の機能の正常な働きを理解し、病的症状の理解に必要とされる基本的な知識を学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生理学の基礎的な専門用語を理解できる。</li> <li>2. 人体を構成する細胞および器官の正常な働きについて簡潔に説明できる。</li> <li>3. 施術者として必要な人体の機能について理解できる。</li> </ol>	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 28時間
	ガイダンス (授業の進め方、評価方法等)	1
	第1章 生理学の基礎	6
	第2章 循環	13
	第3章 呼吸	8
	後期計 (16週)	後期計 32時間
	第4章 消化と吸収	10
	第5章 代謝	6
	第6章 体温	6
	第7章 排泄	10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験（筆記試験）の平均点（小数点以下、四捨五入）を学年末評価とします。	
履修上の留意点	学年末成績が50点以上（59点未満）の場合のみ、理療教育実施細則の規定により補習を行った上で再評価試験を行います。	
自己学習の進め方	配布資料を精読し、基本的事項を復習して、生理学用語をまとめたノートを作成します。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版 9刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・佐藤優子ほか	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	関係法規	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゆう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律及び、医療関係法規の基礎的知識について学習します。	
到達目標	施術者にとって必要な法的知識を習得し、法に則した業務を行うことができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 0時間
	別紙	
	後期計 (16週)	後期計 0時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理教教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。 (小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	授業の冒頭では、前回の授業の要点を復習します。授業の終了前には、本日の授業の要点をまとめます。国家試験の過去問を使い、随時、問題演習を行います。	
自己学習の進め方	まとめ資料を配布します。この資料はあくまでもポイントを記載したものですので、教科書の関連する単元を良く読み、前後の文章などを確認しながら、復習に活用してください。	
使用教科書	医療と社会 (改訂第8版) 田中千章・不破伸一	
参考書/参考資料	配布資料	

(別紙) 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	関係法規	
前期の授業計画	前期計 ( 14週)	前期計 14時間
	1. あん摩・鍼灸における法と制度の概要	
	法とは何か、あん摩・鍼灸の制度史	1
	2. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律の概要	
	(1) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律における免許	
	ア あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の免許の資格要件	1
	イ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の免許に関する事務など	1
	ウ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の身分の消滅と復活	1
	(2) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律における業務	
	ア あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の業務の独占と業務範囲	1
	イ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の施術に関する注意	1
	ウ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の施術所などに関する規制	1
	エ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師施術所の名称の制限及び広告の制限	1
	オ あん摩マッサージ指圧、はり、きゆうの業務の停止	1
	カ 無免許営業の取り締まり	1
	(3) 罰 則	
	ア あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師に関する罰則	1
イ あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師施術所に関する罰則	1	
まとめ 問題演習	1	
期末試験		
期末試験 講評	1	
後期の授業計画	後期計 ( 16週)	後期計 16時間
	3. その他の関係法規	
	(1) 医療に関する法律	
	ア 医療法の概要	1
	イ 医師法の概要	1
	ウ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の概要	1
	(2) 社会福祉に関する法律	
	ア 老人福祉法の概要	1
	イ 児童福祉法の概要	1
	ウ 身体障害者福祉法の概要	1
	エ 知的障害者福祉法の概要	1
	オ 介護保険法の概要	1
	カ 老人保健法の概要	1
	まとめ	6
期末試験		
期末試験 講評	1	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	嶋 正明・阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	東洋医学概論 I は東洋医学系学科の基礎知識として、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの施術や今後の学習において必要不可欠な科目です。東洋医学の基礎理論（考え方、実践の仕方）を学習します。	
到達目標	東洋医学の基礎理論と特徴、気血津液・臓腑の概念及び生理機能について説明することができる。病因・病機について説明することができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 28時間
	ガイダンス	1
	第1編 東洋医学の基礎理論	
	第1章 東洋医学の意義と特徴	3
	第2章 陰陽論五行論	
	第1節 陰陽論	4
第2節 五行論	8	
第2編 東洋医学の生理観		
第1章 東洋医学における人体の構成	2	
第2章 気・血・津・液・精・神の生理	6	
第3章 臓腑	3	
総括的評価（期末試験）		
総括的評価の解答解説	1	
	後期計 (16週)	後期計 32時間
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許 あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。
成績評価の方法	前期末と後期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めて下さい。単に暗記するだけではなく、東洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めて下さい。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして問題解決に努めて下さい。メールでの質問にも対応しますので、一緒に問題を解決しましょう。問題を解決すると、理解が深まり、東洋医学が好きになると思います。	
使用教科書	基礎理療学 I (東洋医学概論) 改訂第7版 (オリエンズ研究会)	
参考書/参考資料		

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	鳥丸 大地	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	90 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	経絡経穴の基礎、正経十二経と督脈・任脈それぞれの経穴の名称及び部位について学びます。なお、取穴については実技も含めて学習します。	
到達目標	流注と経穴の順番を暗唱することができる。 経穴の部位を口頭で伝えることができる。 経穴を実際の体で取穴することができる。	
授業計画	前期計 ( 14 週)	前期計 42時間
	①ガイダンス ②経絡の概要・正経十二経の流注・骨度法 ③主な経穴 ア 督脈・任脈 イ 手の太陰肺経 ウ 手の陽明大腸経 エ 足の陽明胃経 オ 足の太陰脾経 カ 手の少陰心経 キ 手の太陽小腸経 期末試験(筆記・口頭試験)	1 3 8 3 5 7 6 3 6
授業計画	後期計 ( 16 週)	後期計 48時間
	ク 足の太陽膀胱経 ケ 足の少陰腎経 コ 手の厥陰心包経 サ 手の少陽三焦経 シ 足の少陽胆経 ス 足の厥陰肝経 ④経絡経穴の現代医学的研究 ⑤復習 期末試験(筆記・口頭試験)	10 6 5 6 10 6 3 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期ともに期末に筆記試験(90%)と口頭試験(10%)を行い、当該学期の評価点とする。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得の要件です。	
履修上の留意点	原則、あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題基準を考慮した講義を中心に進める。定期的に暗唱の確認や部位の確認を行う。	
自己学習の進め方	経穴の名称や部位を暗唱するだけでなく、その部位を取穴できるようにするために積極的に模型や身体に触れるように心がけてください。配布資料を中心に予習、復習を行ってください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版 10刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人	
参考書/参考資料		

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	古賀 英樹	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	本授業では、施術者として必要なあん摩施術に関する基礎的な知識（基本手技・感染対策・リスク管理等）と技能（各基本手技や部位毎の施術手順）について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度の獲得を目指します。	
到達目標	①施術者としての基本を身に着け安全に施術できる。（基本手技をはじめ基本的なリスク管理や感染対策） ②安定して手技を行うことができる。（施術部位・施術ライン・施術時間・施術のリズム） ③各部位毎の施術を手順どおりに実施できる。	
授業計画	前期計 （14週）	前期計 56時間
	1 ガイダンス ①あん摩の意義 ②施術に必要な人体各部の名称 ③授業に際しての注意事項	2
	2 基本手技の紹介 3 座位における肩背部のあん摩 4 側臥位における肩背腰部のあん摩 復習・その他 期末試験	4 22 20 8
	後期計 （16週）	後期計 64時間
	5 側臥位における上肢のあん摩 6 側臥位における頸部のあん摩 7 側臥位における下肢のあん摩 8 腹臥位における肩背腰部、下肢のあん摩 復習・その他 期末試験	10 8 12 20 14
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	各学期末に実技試験を実施します。試験の得点80%、授業の平常点20%で評価し、当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件です。	
履修上の留意点	再評価試験は実施しません。また、やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	指づくりを心掛け、何人・何時間と施術ができる体力を身につけましょう。また、医療従事者として健康に留意し、清潔であるように努めて下さい。	
使用教科書	保健医療基礎実習 第2版（都立文京盲学校理療科研究会）	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	古賀 英樹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	本授業では、施術者として必要なマッサージ施術に関する基礎的な知識（基本手技・感染対策・リスク管理等）と技能（各基本手技や部位毎の施術手順）について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度の獲得を目指します。	
到達目標	①施術者としての基本を身に着け安全に施術できる。（基本手技をはじめ基本的なリスク管理や感染対策） ②安定して手技を行うことができる。（施術部位・施術ライン・施術時間・施術のリズム） ③各部位毎の施術を手順どおりに実施できる。	
授業計画	前期計 （14週）	前期計 28時間
	1 ガイダンス ①マッサージの意義 ②施術に必要な人体各部の名称 ③授業に際しての注意事項	2
	2 基本手技の紹介	2
	3 身体各部位のマッサージ ①前腕部 ②下腿部 復習・その他 期末試験	10 10 4
授業計画	後期計 （16週）	後期計 32時間
	③上腕部	4
	④手関節	4
	⑤肘関節	5
⑥肩関節	5	
⑦足関節	4	
⑧膝関節	5	
復習・その他 期末試験	5	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	各学期末に実技試験を実施します。試験の得点80%、授業の平常点20%で評価し、当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件です。	
履修上の留意点	再評価試験は実施しません。また、やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	日頃から繰り返し練習することによって、手掌と指先の感覚が養われ、施術者の手が作られていきます。また、皮膚上から直接触れる施術を行う者として、手指のケアに努めるとともに、医療従事者として健康に留意し、清潔であるように努めて下さい。	
使用教科書	保健医療基礎実習 第2版（都立文京盲学校理療科研究会）	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	渡邊麗恵	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	衛生操作、用具の取扱い、施術の流れ、生体観察の基本、主な経穴の取穴等、鍼施術の基礎と安全動作を学習します。	
到達目標	1. 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2. 刺鍼法（管鍼法）について説明・実践することができる。 3. 身体各部の主な経穴を取穴して刺鍼することができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 42時間
	1. 年間授業計画、必要用具、評価についての説明 2. 実技室の使い方、手洗い・手指消毒法、実技における諸注意 3. 揉捏、押手、留管、弾入 4. 両手挿管 5. 片手挿管 6. 銀鍼による刺鍼練習器への刺鍼 7. 皮膚消毒、自分の下肢への刺鍼練習 8. 他者の下腿への刺鍼練習 9. 下腿の主な経穴への刺鍼練習	2 2 2 2 5 10 7 7 5
授業計画	後期計 (16週)	後期計 48時間
	1. 前腕部の主な経穴への刺鍼練習 2. 腰部の主な経穴への刺鍼練習 3. 背部の主な経穴への刺鍼練習 4. 肩部の主な経穴への刺鍼練習 5. 頸部の主な経穴への刺鍼練習 6. 頭部の主な経穴への刺鍼練習 7. 胸腹部の主な経穴への刺鍼練習 8. 顔面部の主な経穴への刺鍼練習 9. 膝関節周囲の主な経穴への刺鍼練習 10. 指サック、グローブを装着した刺鍼体験	6 12 7 7 4 2 4 2 2 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期の期末評価の平均点をもって学年末評価とします。	
履修上の留意点	実技参加にあたっては、事前に清潔な白衣の準備や爪切り、実習中のマスク着用を求めます。	
自己学習の進め方	この実習には、解剖学、経絡経穴概論の内容も含まれるため、事前に関連科目の内容を確認して下さい。特に経穴の取穴法について、予習をして実習に臨んで下さい。	
使用教科書	鍼灸実技（改訂第5版）オリエンス研究会	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版16刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄ほか 新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版10刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人	

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	鳥丸 大地	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	きゅう施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。透熱灸と知熱灸を作成し施灸することができる。身体各部の主な経穴を取穴して施灸することができる。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 28時間
	①ガイダンス	1
	②施術室の管理、リスク管理、灸の基礎知識	2
	③台座灸の点火と施灸	10
④線香への点火	2	
⑤知熱灸艾炷(母指頭大、小指頭大)のひねりと点火	10	
⑥反復練習、試験対策	2	
⑦期末試験		
⑧期末試験講評	1	
	後期計 (16週)	後期計 32時間
⑨知熱灸艾炷(母指頭大、小指頭大)のひねりと点火	8	
⑩各種灸法(カマヤミニ・MT温灸器等)による施灸	4	
⑪隔物灸による施灸	4	
⑫台座灸による経穴部位の施灸	10	
⑬反復練習	5	
⑭期末試験		
⑮期末試験講評	1	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期ともに期末に実技試験を実施します。実技試験80%と平常点20%で評価します。平常点は授業に取り組む態度で評価します。学年末評価は、前期、後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であれば単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	身体や白衣を常に清潔に保つよう心がけてください。 技術の習熟度に合わせて適宜時間数を調整します。	
自己学習の進め方	やけどや火災の危険があるため、授業時間以外は火を扱わない練習を行ってください。火を扱う練習をしたい場合には、担当教官が立ち会いますので、遠慮なく声をかけてください。	
使用教科書	鍼灸実技(改訂第5版) オリエンス研究会	
参考書/参考資料		

## 令和4年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅲ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	村松 芳容	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	指圧は術者の徒手を用いて患者の身体の一定部位を押圧することにより、生体機能を調整し、健康の保持・増進を図る手技療法です。この科目では指圧の基本となる押圧動作について、体重移動により必要十分な加圧が安定して行えるようになることを第一の目標としています。	
到達目標	安定して手技を行うことができる。 施術者としての基本を身につける。	
授業計画	前期計 (14週)	前期計 28時間
	指圧の基礎	2
	押圧の基本動作と基本指圧	2
	坐位の指圧	5
	側臥位の指圧	8
	伏臥位(腹臥位)の指圧	10
	期末試験(実技)	
	講評	1
	後期計 (16週)	後期計 32時間
	伏臥位(腹臥位)の指圧	13
	仰臥位(背臥位)の指圧	18
	期末試験(実技)	
	講評	1
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
		実務経験を活かし、リスク管理や効果的な施術ができるよう指導する。
成績評価の方法	前期、後期ともに学期末に実技試験を実施します。その成績を当該学期の評価点とします。学年末評価は前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件です。	
履修上の留意点	身体や白衣を常に清潔に保つよう心がけてください。 技術の習熟度に合わせて適宜時間数を調整します。 安定した施術には、体力とバランス能力を養う必要があります。	
自己学習の進め方	押圧動作の安定のため母指・上肢・体幹を指圧に対応できる状態にする必要があります。日頃から基礎体力訓練として「畳押し」等を継続してください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会	
参考書/参考資料		